

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施事業及び効果検証について
(令和3年度実施事業)

	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	効果検証	所管課
1	感染症対策事業	村内公共施設において新型コロナウイルス感染症を予防するために、感染予防用品を購入した。	R3.4.1	R4.2.28	1,411,863	1,230,613	村内公共施設に感染予防用品を設置したことで、感染拡大防止対策を図ることができた。	総務課
2	感染症対策事業(PCR検査)	遠隔離島であり医療体制が十分でない小笠原へ新型コロナウイルス感染症を持ち込まないために、水際対策として竹芝での乗船者に対しPCR検査を実施した。東京都、村、小笠原海運、国立国際医療研究センター、検査センターとの5者連携により実施し、村が負担する検査費用に充当。	R3.4.1	R4.3.31	52,506,890	49,254,874	島内の狭小な生活区域や限られた医療資源において感染症の侵入は脅威であるため、持ち込まないための強固な水際対策は村民生活の安心に大きく貢献した。	総務課
3	緊急生活支援金事業	休業等により収入が減少し生活が困窮している世帯へ、生活支援基準額に対する実収入不足額の生活支援金の給付した。	R3.4.1	R3.8.5	9,989,610	9,370,903	感染症の影響により生活に困窮する村民に対し、生活支援基準額に対する実収入不足額として9,951千円を給付し、生活支援につながった。	総務課
4	新型コロナウイルス一掃期間協力金事業	新型コロナウイルス一掃期間(8月24日～9月6日)の来島自粛要請に伴う事業者支援を行った。	R3.8.24	R4.1.31	67,116,170	37,177,550	観光客等のキャンセルに伴う協力金として、67,078千円を支給し、村内事業者の事業継続の一助となった。	総務課
5	感染症対策事業(療養施設)	新型コロナウイルス感染症に感染し、同居家族がいるために自宅療養の困難な村民向けの療養施設の整備を行った。	R3.11.25	R4.3.31	2,930,934	2,749,407	村民向けの療養施設に必要な物品を購入し、施設環境の整備を行うことで、村民生活の安心に寄与した。	総務課
6	公立学校情報機器整備費補助金	新型コロナウイルス感染症蔓延の長期化を受け、休校時等の遠隔学習実現(GIGAスクール構想)に向けてソフト面での環境を整備した。	R4.1.14	R4.3.31	3,010,700	1,289,558	ICT機器に知見を有するスクールサポーターを配置し、学校ICT環境の設計や通信環境の確認、端末の使用ルール作成などを行った。対面及びオンラインで教員に対するICT機器の使用法の周知及び技術的支援を行い、児童生徒の遠隔学習環境を可能にした。	教育課
7	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルス感染症蔓延の長期化を受け、休校時等の遠隔学習実現(GIGAスクール構想)に向けてハード面での環境を整備した。	R4.1.21	R4.2.25	215,380	66,021	遠隔学習のためのWebカメラ、マイクの機器整備を行うことで、児童生徒の学習環境を整えることができた。	教育課
8	疾病予防対策事業費等補助金	新型コロナウイルスワクチン予防接種定期接種化に伴う情報連携に先立ち、ロタウイルスワクチン予防接種定期接種化に伴う情報連携体制の整備を実施した。	R3.6.8	R3.8.16	726,000	48,779	義務化された、ワクチン接種履歴について健康管理システムのマイナンバーとの情報連携対応がなされたことで、行政での全体的な予防接種履歴の管理・運用体制を整えることができた。	村民課
9	疾病予防対策事業費等補助金	コロナ禍によって明らかになった医療分野のデジタル化の遅れを解消するため、国が定めたデータヘルス集中改革プランの一貫として、健(検)診結果の利活用に向けた健(検)診結果等の様式の標準化並びに情報連携システム改修を行った。	R3.12.27	R4.3.31	3,839,000	1,631,295	健康診査等の実施機関から提出される健康診査等の結果について、村の標準的な電磁的記録の形式により受け取ることができるよう、システムを整備することができた。	村民課
					141,746,547	102,819,000		